

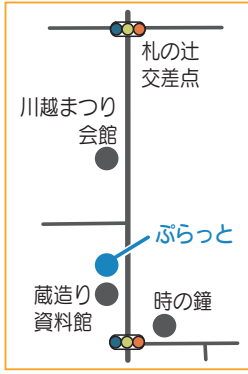
川越時間旅行 9

市立博物館 222-5399

まちなみ散歩ステーション「ぶらっと」

多くの来訪者でにぎわう蔵造りの町並みは、商都川越を象徴する風景の一つです。この町並みの歴史や蔵造りを見るときポイントを伝えるため、蔵造り資料館の隣にまちなみ散歩ステーション「ぶらっと」を設置しました。ここでは、蔵造りの町並みを含む「伝統的建造物群保存地区」に関する説明や、町並みの古い写真などの展示の他、「ぶらっとカード」を置いていきます。

ぶらっとカードには、蔵造りの町並みをクイズを解きながら巡る「探検」、川越散策のモデルコース「散策」、散策しながら立ち寄れる施設を紹介する「紹介」の3種類あり、さまざまな川越の楽しみ方を紹介しています。初めて川越に来た方はもちろん、リピーターの方や川越に住んでいる方も、普段と一味違った川越散策が楽しめます。



皆さんぜひ「ぶらっと」お立ち寄りください。

開館時間：午前9時30分～午後4時30分

休館日：休日を除く月曜日、土・日

日曜日を除く休日の翌日、年末年始、館内整理



金魚草

南ヨーロッパや北アフリカなど地中海沿岸が原産。

金魚を連想させるふっくらとした花が特徴です。パステル調で明るく、金魚草の中でも花が大きく開く「バタフライ系」という品種が、市内では主に栽培



されています。口が開いているようにも見えるため、花ことばは「おしゃべり」です。

金魚草の市内出荷団体「芳華」の会長・仲信一さん(古市場)は白、黄、ピンクの花をハウスで栽培しています。

6～8月に種をまき、10月中旬～5月初旬に主に冠婚葬祭用の切り花として都内や市内の花き市場に出荷しているそうです。「強い日差しに弱いので、苗が成長する夏は、日照や温度管理に特に気を遣っています」と仲さん。ハウス内が高温にならないような工夫や栽培に向く土質が、川越の金魚草の品質を全国トップクラスに導いています。川越産の花は、市内の一部直売所で買うことができます。



公園朝市年末特別開催

12月29日(土)、午前9時～11時(クレアパーク)

編集後記

ぶんぶん

90周年を記念して行われた小江戸川越ライトアップ。一番街や時の鐘などが光に包まれました。鍛冶町広場では「ぼくのあった!」の

声。近くの幼稚園児が色を塗ったペットボトルが飾られているのだとか。写真を撮ったり眺めたり、多くの人が普段と違う幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

世 界糖尿病デーの11月14日には、埼玉りそな銀行川越支店が青くライトアップ(左写真)。病气への理解を深め、予防・治療に対する意識を高めるため、札幌時計台や清水寺、世界各地の観光名所・史跡などもブルーにライトアップされました。



広報川越1284

発行日/平成24年12月10日(毎月10日・25日発行)

発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171

編集/広報室 印刷/徇新広社